

『G I 産品「<sup>じーあい</sup>辺塚<sup>へつか</sup>だいだい」の魅力<sup>かのやし</sup>を全国へ』  
鹿児島きもつき農業協同組合（鹿児島県鹿屋市）

【取組内容】

地域固有の果実として、平成29（2017）年12月に地理的表示（G I）として国に登録された「辺塚だいだい」の更なるブランド展開を図るために、地域が大手飲料メーカーとの協働で新商品を開発。

【取組に至った経緯】

G I 産品として国に登録されたことをきっかけに新たな商品も開発されているが、全国的な知名度を得るまでには至っていなかった。

このため、全国展開が期待できる商品の開発に取り組むこととした。

【取り組む際に生じた課題と対応】

さわやかな香りとやわらかな酸味の「辺塚だいだい」の特徴を最大限に発揮するため、生産地や生産者が限られ年間約50 tの生産量しかない貴重な原料を2年間かけて確保するなど、商品開発の多くの工程で地域が全面的に協力して取り組んだ。

【取組の成果】

共同開発によって完成した商品が全国販売され、売れ行きが好調だったことから、原料の「辺塚だいだい」にも注目が集まり、これまで取引のなかった事業者からの引き合いが増加した。

また、同じ鹿児島県でG I 産品として登録されている「鹿児島の壺造り黒酢」とのコラボ商品の実現や県内一の繁華街で提供する共同メニュー「天文館ハイボール」の原料に選ばれるなど、意欲的な取組が新たに展開した。

【今後の展望】

引き続き、地域の関係者が一体となって「辺塚だいだい」の活用や商品開発等を行うとともに、地域のNPO法人を中心に耕作放棄地への作付や「果樹のオーナー制度」の活用によって生産拡大を図り、地域の農業振興にも貢献する。



収穫前の「辺塚だいだい」



スライスした「辺塚だいだい」



共同開発商品の販売の様子



地域で開発した加工食品